

第1回ビーチクリーン(海没地区)開催しました



R3年度第1回のビーチクリーンは、8/19(木)、10:00～11:30、爽やかな晴れ間の中で、海没地区の西側半分の海岸漂着ごみの回収作業を行いました。新型コロナ感染拡大による緊急事態宣言が発令されている時期ではありますが、さらに感染リスク対策を見直し、必要な措置を十分講じた上で開催しました。この時期は、台風の影響がある場合を除き比較的大型・その他のごみ(壊れやすいプラスチックごみ等を優先して、大型の漂着物も回収)は少ないこともあり、ボランティア参加者11名で1時間程の回収作業となりました。

今回の参加者は、しかたに自然案内、笹尾商工・NEOS、サンエーパルコ、セラードコーヒー、港川自治会、浦添市(西海岸開発課、環境保全課)の皆さんです。ご協力ありがとうございました。

可憐な花が見頃の海岸植物

今年度も8月～1月迄、6回開催します



西側ゲート付近、捨てられたごみ類

今年度は、浦添市景観まちづくり活動支援事業(沖縄振興特別推進市町村交付金・沖縄振興一括交付金)ソフト交付金を活用して、『自然の砂浜(海没地区)再生プロジェクト』の推進を目的に、浦添市が推進する景観まちづくり及び、里浜の保全及び活用促進の基本理念に基づき、具体的な施策展開の実現を目指し、市民協働で実証に取り組めます。

昨年度に続き、西海岸・里浜ビーチクリーンを開催するとともに、初めて西海岸ドローン空撮を実施し、西海岸3地区(カーミージー周辺地区、海没地区、サンエーパルコ地区)の現状把握に向けた効果的なモニタリング手法の可能性の実証を検討します。具体的には、海没地区の砂浜の状態の把握として、人工物等瓦礫の散乱、海岸漂着ごみ回収撤去に向けた基礎データの収集等を行います。

なお、第1回ビーチクリーンの現地集めたごみ類(下表、参照)は、那覇港管理事務所の駐車場内の緑地に仮置きし(事前に海岸清掃等ボランティア活動届を提出)、翌日には回収されました。



密度まったく問題ない回収作業の様子

回収したごみ類一覧

単位:kg(ごみ袋数)

燃えるごみ	燃えないごみ	その他袋に入らないごみ
<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック類(ペットボトル等) ・漁具ロープ ・発泡スチロール ・ビニール傘 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス片 ・鉄片 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃タイヤ ・ゴムシート ・その他プラスチック(かご、プラスチックパレット) ・キーパー
58 (15)	6 (1)	25
89 (16)		



指定した仮置場に並べられた回収ごみ

次回ビーチクリーンは、9/2(木)、10:00～11:00

第2回は、カーミージーの浜でいつも漂着ごみを回収している、清ちゃんカフェで陸揚げされたごみ類を運搬車両に積み込む作業をします。「新しい生活様式」を公園や緑の力で健康に～ニューノーマルに対応した公園・緑の利活用～(国交省)を参考に、コロナ感染対策として人流を抑えるため10名程度、1時間で作業を終える予定です。また、当日は現地集合・解散になります。ご協力よろしくお願ひします。